

新年おめでとうございます！



小菅ヶ谷地区のみなさま新年おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の終息がなかなか見通せない状況で新年を迎えましたが、希望をもって地域の仲間同士のつながりをさらに深めていきましょう。新年初めは「ルピナス」「親子カフェにじいろ」代表の倉田由木さんと主任児童委員の宮崎良子さんから、子育てママやパパ、小学生、中学生の皆さんに激励の「エール」をいただきました。

子どもは未来、そして希望！

「ルピナス」「親子カフェにじいろ」代表 倉田 由木

はじめてのお子さんが1歳に満たないママたちの交流サロン「ルピナス」は10年目、未就学児と保護者の交流ひろば「親子カフェにじいろ」は6年目。多くのママや子どもたちと出会い応援を続けてきましたが、今年度はコロナ禍で活動中止からのスタートとなってしまいました。

生活が一変し、当たり前だったはずの日常が自由にならない日々が続いています。外出の自粛に伴い、屋内で過ごす生活の長期化で、ストレスを抱えたり、孤立化することも心配です。

様々な工夫をされながらお過ごしのことと思いますが、まずは子どもたちが安心して過ごせるよう、一緒におしゃべりをしたり、あそんだり、笑いあって気分を明るくすることが大切かも知れません。

思うように外出できないことも終息してからの楽しみと試してみるのはいかががでしょうか。

それでもどうしても前向きになれないときは周りに目を向けてください。

「にじいろ」も9月から活動を再開しています。ぜひご参加いただき、私たちにお手伝いをさせてください。

お子さんたちの健康管理に神経質になりがちですが、まずはご自身の体調に気を配っていただくことを望みます。お子さんにとってお父さん、お母さんが一番大切です。子どもは未来、そして希望です。地域も皆さんを応援しています。助け合って、皆でこの困難な状況を乗り越えましょう。



実普会 12月例会「クリスマス会」の様様



9月に再開した「親子カフェにじいろ」

「さかえっ子の笑顔のために」

主任児童委員 宮崎 良子

"主任児童委員"ってどんなことをしているの？と思っている方が多いと思います。簡単に言うと、栄区の子どもたちが笑顔でいられるために活動しています。いくつかある活動の中から、2つをご紹介します。

1つ目は「フリースペースさかえ」です。学校が苦手なお子さんと保護者のために、相談活動と居場所の提供をしています。毎月第4金曜日小菅ヶ谷地域ケアプラザで開催しているので、お気軽にお立ち寄りください。コロナ禍で休校になったとき、逆にホッとした子どももいたことを忘れてはいけなかったと思います。

2つ目は「さかえっ子の笑顔広げ隊」です。区役所や社協、にこりんくと一緒にいろいろな活動をしています。力を入れている活動の1つに中学校で行う"いのちの授業"があります。

約7割の妊婦さんが、出産するまで赤ちゃんに触れ合った経験がないそうです。中学生に妊婦体験をしてもらったり、実際の赤ちゃんやママと触れ合う時間を作りました。生命の誕生のしぐみを知り、命の大切さを感じてほしいです。そして、自分の命も友だちの命も大切にしてほしいと思います。

どちらの活動もコロナ禍のため、通常通り行えなくなっています。コロナを恨む気持ちもありますが、気づかされたこともありますよね？"当たり前の日常"のありがたさを、しみじみと感じました。また、家族と一緒にいる時間が増えたことは、子どもたちにとって良いことだと思います。どんなときにも、自分や他人の命を大切に、人と人とのつながりに感謝したいですね。



フリースペースで作った作品



中学生と赤ちゃんのふれあい（2019.2）

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今回は「ルピナス」「親子カフェにじいろ」と主任児童委員の活動を紹介していただきました。今年こそ新型コロナウイルス感染症の収束を願って発行致します。

〈お問合せ先〉 横浜市栄区小菅ヶ谷地区社会福祉協議会 事務局:涌井 秀治(893-6418)